

# 田んぼダムだより ~第7号~

暦の上では秋となりますが、まだまだ厳しい暑さが続いております。農家の皆さまにおかれましては、水管理に帆走されてるところかと思えます。

田んぼダムについては、台風の場面でも効果が発揮されます。引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## ◆田んぼの学校を錦町で開催！

小学生向けに田んぼダムの仕組みや効果をPRするために、「田んぼの学校2023 in 錦町」を令和5年7月31日（月）に錦町青年会館で開催しました。

このイベントには、**錦町の小学5年生を中心に約40名**の参加のもと、「田んぼダムの学習会」や、くまモンを交えた「クイズ大会」、田んぼダムの「現地見学」、「せき板の絵付け」を行いました。

### 【学習会】

日頃から田んぼダムに取り組んでいる錦町土地改良区 吉田理事長をお招きし、田んぼダムの仕組みや特徴について、ご自身の**経験**を交えながら動画などを活用し、説明していただきました。



吉田理事長による田んぼダムの説明

### 【クイズ大会】

学習会で学んだ知識を生かして、田んぼダムに関するクイズに挑戦。くまモンも登場し、**楽しみながら、田んぼダムの知識を深めていただきました。**



くまモンを交えたクイズ大会

### 【現地見学】

実物の田んぼで、一体型せき板の有無による排水量の違いを確認しました。田んぼダムの効果を実際に確認して、参加した児童から**驚きの声**が上がりました。



田んぼダムを見学する児童

### 【せき板の絵付け】

せき板の絵付けを体験いただき、**思い思いの絵**を描いていました。



せき板の絵付け



田んぼダムを見学する児童

## ◆国庫補助事業を活用した県営モデル事業が始まりました！

令和5年7月から、人吉・球磨地域の市町村で、国の補助事業である「農地耕作条件改善事業」を活用した排水柵の入替工事を行う事業が始まりました。

田んぼダムは豪雨に備え、**継続的に取組む**ことが重要であり、実際に取り組んでいただく農家の皆さんの負担感を小さくすることが継続的に取組むことに繋がります。そこで、県では、地元のメーカーと連携し、田んぼダム専用の熊本型排水柵を開発しました。しかし、県内では、熊本型排水柵の入替工事を行った事例が少なく、普及拡大に課題が生じることが見込まれるため、

**モデル的**に県営事業で工事を実施し、来年度以降、団体営事業で展開できるようノウハウを蓄積しているところです。

令和6年3月頃を完成予定としていますので、モデル事業の結果を今後の田んぼダムだよりで発信していきます。



破損  
・溝が1つしかない



市町村名	取組み面積
人吉市	11ha
錦町	16.8ha
多良木町	10ha
湯前町	8.4ha
水上村	9.7ha
山江村	11.9ha
あさぎり町	20ha

## ◆みやぎ田んぼダムシンポジウムに参加しました

田んぼダムの取組みは、全国各地で拡大されており、宮城県では、令和3年6月に「宮城県田んぼダム実証コンソーシアム」を設立し、普及・拡大が行われています。

令和5年6月12日には、「みやぎ田んぼダムシンポジウム」が開催され、県内全域のコンソーシアム会員等への活動実績の報告や他県の取組み事例が紹介されました。

熊本県もシンポジウムに招待され、取組み事例として、昨年度まで実施した田んぼダム実証実験の結果や田んぼダムマスターの育成の取組みなどを講演しました。



熊本県担当者による講演

## ◆今後のスケジュール（予定）

- ・9月11日…セブンイレブン寄付金贈呈式※
- ・10月下旬…九州「農地・水・環境保全」フォーラムin熊本
- ・11月上旬…くまもと農業フェア2023への出展
- ・令和6年2月頃…田んぼダムマスター研修会

※令和5年、6月20日～7月3日に県内のセブンイレブンで開催された『おいしいくまもとフェア』の売上の一部を熊本地震及び令和2年7月豪雨の復興のために、県に寄付される予定です。

